

6確定闘争に勝利しよう!!

わか組合は10月21日の第2回中央委員会において「2016賃金確定闘争を中心とした秋闘闘争方針」および「2016特別区人事委員会勧告後の要求書」を確認しました。すでに10月18日に開催された16賃金確定総決起集会で闘いの狼煙をあげたところですが、地連ごとの要請行動・総決起集会、各区長要請、署名・ステッカー行動など全組合員の総力で取り組み、私たちの要求実現に向けて闘いを抜きましよう。

1 2016賃金確定闘争について

(1) 2016春闘情勢について

連合の2016春季生活のは、今後につながる成果からの脱却」と日本経済闘争最終集計(7月1日現在)によると、月例賃金に在)によると、月例賃金に計では、平均賃金方式で要求・交渉した組合員組合で年間月数4.86月(昨年同時期比0.02月増)年間安結結果は、5.779円(2.00%)と集計され(2.00%)と集計された。連合は、「要求趣旨がすべて満たされたとはいえないが、厳しい交渉の中で月例賃金の改善を3年連続して達成することができた

(2) 2016年人事院勧告・報告について

人事院は8月8日、月例加せず、なお較差が残る。近年配偶者に係る手当の見直しを行った民間事業所から、地方公務員には支給されない本府有業務調整の引上げのついては民間の支給割合が8円(0.17%)、一時金に4.32月といずれも民間が公務を上回っていたことから、3年連続して月例給一時金ともに引き上げる動一時金も引き上げ、民間親族にかかる手当額と同様6,500円に段階的に減額することにより生じ、再任用職員も含め、全世代を対象に俸給表を引き上げる。また、一定の評価を受けることのできるものである。給与制度の総合的見直しによる現給保障の観点から、引き上げ改定を行うことが減少傾向にあることや、求めなければならぬ。

第2回中央委員会 2016秋季闘争方針を確認

2016賃金確定闘争を中心とした秋季闘争方針

11月25日の統一基準日での到達点を目指し各区交渉強化

による共済掛金の引上げ分と調整号数の降止を一日も早く判断すること等を主別区の置かれた厳しい状況にも及ばない内容であり、首都圏で働く特別区職員の張し、清潔な住環境を守るを踏まえ、(中略)区民の生活実態に見合った給与改定を行うこと、②業務職給費な公共サービスとしてのう、慎重に検討してまいり、十分な労使協議期間を確保するために早期に業務職給料表を明らかにする区長会長からは、「動くことを十分尊重する必要が

(4) 2016賃金確定期の具体的な取組みについて

「報告後の要求(案)」を参照
(2) 特区連、各区職労との連携・共闘
 これまでの確定闘争からつた交渉が重要となる。また、統一要求を基本として、明らかなように、本交渉は、同じ相手と交渉する特、各区の実情に合わせて、各職労との合同要請行動を実施するなど、各区職労「各区分からという要望は受けておられません」とい、方式が採用されていること

(3) 情報の共有化と取組み

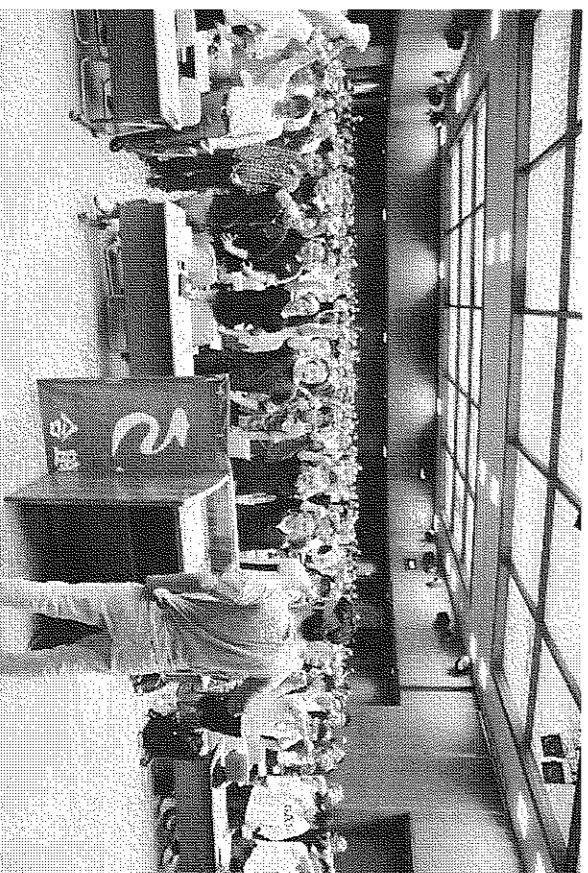
- ①機関会議の適時開催
- ②交渉の進捗状況の共有
- ③特別区人事委員会要請行動
- ④地連単位の取組み
- ⑤実力行使体制の配置
- ⑥状況からは乖離した拙速な見直しとわきまを得ない。
- ⑦逆に特別区人事委員会が扶養手当の見直しに言及
- ⑧0.00円に引き上げること
- ⑨5,000円に段階的に減額することにより生じ、再任用職員も含め、全世代を対象に俸給表を引き上げる
- ⑩一定の評価を受けることのできるものである。
- ⑪給与制度の総合的見直しによる現給保障の観点から、引き上げ改定を行うことが減少傾向にあることや、求めなければならぬ。

青年部第61回定期大会を開催

10月26日、SRホールにおいて東京清掃青年部第61回定期大会が開催されました。冒頭、主催者を代表して石川青年部長から青年部の取り組みと青年部が抱える課題を含めた挨拶をされました。東京清掃田中央執行委員長および自治労働本部森青年部長のお二人が



▲青年部運動の先頭に立って頑張るぞ!



▲区長会は清掃労働者の切実な声を聞け!!

自治研活動を通じて区民目線にたち、良質が公共サービスを勝ち取るう！



職員の話を実録(記録)子供たち

いま No.18 清掃事業は... 新宿区

新宿支部は、新宿清掃事務所小型アス車から軽アス車へ歌舞伎町センター・新宿東清変更したことに合わせ、事務所・各センターにて破袋選別をしながら、火災原因物を除去した。さらに、私たちが清掃の仕事も同時にしています。新規採用は区移管以降、平成17年と20年に各5名、20年に4名、23年に3名と3年おきに獲得しています。不燃ごみの中から10%の資源を抜き取ることによって、資源支部では、平成26年度に人事当局と将来を見据えた清掃事業執行に関する意見交換等を行ってまいりました。平成28年からは水俣の状況にあります。また、民間に任せられる分野は民間委託し、いくつ考え方が区の運営方針にあり、他区と同様、常に徹しい合理化攻撃にさらされています。

新宿区清掃事務所の直近の特徴として、平成27年から資源センターに展開できたことは島が幼稚園・保育園や小学生を対象に周知啓発活動として人気がありますし、軽小車による狭小路地対策と高齢者訪問収集などは、きめ細やかな住民サービスを展開することで直営職員が地域を見守っています。

新宿支部としては、今後自治研活動を通じて区民目線にたち、良質な公共サービスや可能性を追求し、直営としてのサービスを模索しながら区の施策提言に繋げていきたいと考えています。清掃事業を通じて地域を見守り、区民から必要とされる存在にならなくてはなりません。



坂山 悟 (新宿区担当中央執行委員)

坂山 悟 (新宿区担当中央執行委員) 思います。

存在にならなくてはならないと見守り、区民から必要とされるます。清掃事業を通じて地域を

2016賃金確定闘争を中心とした秋季闘争方針

- 2016賃金確定闘争 主なスケジュール**
- 10月31日(月) 17:30~ 第一地連総決起集会 (新宿清掃事務所)
 - 11月1日(火) 18:00~ 第四地連総決起集会 (練馬区役所)
 - 11月7日(月) 第三回団体交渉
 - 11月8日(火) 17:30~ 第三地連総決起集会 (世田谷区役所中庭)
 - 11月10日(木) 18:00~ 第五地連総決起集会 (墨田生涯学習センター)
 - 11月14日(月) 17:30~ 第二地連総決起集会 (文京区民センター)
 - 11月15日(火) 18:00~ 第三波総決起集会 (連合会館)

3面からつづ

★ 月日 2016年10月14日(金) 携しつつ、具体的な取組みを進める。

☆ 内容 区長会が進めたい行政系人事制度の検討状況について

4 清掃関連労働者との連携、共闘

清掃下請関連協会の登録人数は、2012年度の72人から2016年度27人から8人と減少が続いている(関係ではあるが、経営者として働いている人の労働条件に連携協会の資料から)。

清掃事業の区移管反対闘争である。正社員が一人もいない雇上会社がある。また、区移管から16年余りが経過し、若干疎遠になっている。関係を再度強固なものとして、幅広い運動を作っていく必要がある。

23区の清掃事業は、行政と雇上業界とのパートナーシップで近代化・機械化が図られ、東京23区の清掃事業の質は維持されてきた。組織人員等の実態把握、②組合員の意識調査、③課題の長い歴史を踏まえて随分移管から11年目となり、各区・一組における交渉も各支部の奮闘により強化されてきた。これまでの闘いから得た経験を最大限に活かして、追力ある大衆闘争を展開する。「自らの労働条件は、自らの闘いで切り拓く」「官・民・正規・非正規の枠を超えた社会的労働運動の中軸を担う」という信念で、全組合員の総力を結集することを確認して今秋闘争の方針とする。

3面からつづ

★ 月日 2016年11月30日(水) 携しつつ、具体的な取組みを進める。

☆ 内容 区長会が進めたい行政系人事制度の検討状況について

4 清掃関連労働者との連携、共闘

清掃下請関連協会の登録人数は、2012年度の72人から2016年度27人から8人と減少が続いている(関係ではあるが、経営者として働いている人の労働条件に連携協会の資料から)。

清掃事業の区移管反対闘争である。正社員が一人もいない雇上会社がある。また、区移管から16年余りが経過し、若干疎遠になっている。関係を再度強固なものとして、幅広い運動を作っていく必要がある。

23区の清掃事業は、行政と雇上業界とのパートナーシップで近代化・機械化が図られ、東京23区の清掃事業の質は維持されてきた。組織人員等の実態把握、②組合員の意識調査、③課題の長い歴史を踏まえて随分移管から11年目となり、各区・一組における交渉も各支部の奮闘により強化されてきた。これまでの闘いから得た経験を最大限に活かして、追力ある大衆闘争を展開する。「自らの労働条件は、自らの闘いで切り拓く」「官・民・正規・非正規の枠を超えた社会的労働運動の中軸を担う」という信念で、全組合員の総力を結集することを確認して今秋闘争の方針とする。

携しつつ、具体的な取組みを進める。

☆ 内容 区長会が進めたい行政系人事制度の検討状況について

4 清掃関連労働者との連携、共闘

清掃下請関連協会の登録人数は、2012年度の72人から2016年度27人から8人と減少が続いている(関係ではあるが、経営者として働いている人の労働条件に連携協会の資料から)。

清掃事業の区移管反対闘争である。正社員が一人もいない雇上会社がある。また、区移管から16年余りが経過し、若干疎遠になっている。関係を再度強固なものとして、幅広い運動を作っていく必要がある。

23区の清掃事業は、行政と雇上業界とのパートナーシップで近代化・機械化が図られ、東京23区の清掃事業の質は維持されてきた。組織人員等の実態把握、②組合員の意識調査、③課題の長い歴史を踏まえて随分移管から11年目となり、各区・一組における交渉も各支部の奮闘により強化されてきた。これまでの闘いから得た経験を最大限に活かして、追力ある大衆闘争を展開する。「自らの労働条件は、自らの闘いで切り拓く」「官・民・正規・非正規の枠を超えた社会的労働運動の中軸を担う」という信念で、全組合員の総力を結集することを確認して今秋闘争の方針とする。

携しつつ、具体的な取組みを進める。

☆ 内容 区長会が進めたい行政系人事制度の検討状況について

4 清掃関連労働者との連携、共闘

清掃下請関連協会の登録人数は、2012年度の72人から2016年度27人から8人と減少が続いている(関係ではあるが、経営者として働いている人の労働条件に連携協会の資料から)。

清掃事業の区移管反対闘争である。正社員が一人もいない雇上会社がある。また、区移管から16年余りが経過し、若干疎遠になっている。関係を再度強固なものとして、幅広い運動を作っていく必要がある。

23区の清掃事業は、行政と雇上業界とのパートナーシップで近代化・機械化が図られ、東京23区の清掃事業の質は維持されてきた。組織人員等の実態把握、②組合員の意識調査、③課題の長い歴史を踏まえて随分移管から11年目となり、各区・一組における交渉も各支部の奮闘により強化されてきた。これまでの闘いから得た経験を最大限に活かして、追力ある大衆闘争を展開する。「自らの労働条件は、自らの闘いで切り拓く」「官・民・正規・非正規の枠を超えた社会的労働運動の中軸を担う」という信念で、全組合員の総力を結集することを確認して今秋闘争の方針とする。

携しつつ、具体的な取組みを進める。

☆ 内容 区長会が進めたい行政系人事制度の検討状況について

4 清掃関連労働者との連携、共闘

清掃下請関連協会の登録人数は、2012年度の72人から2016年度27人から8人と減少が続いている(関係ではあるが、経営者として働いている人の労働条件に連携協会の資料から)。

清掃事業の区移管反対闘争である。正社員が一人もいない雇上会社がある。また、区移管から16年余りが経過し、若干疎遠になっている。関係を再度強固なものとして、幅広い運動を作っていく必要がある。

23区の清掃事業は、行政と雇上業界とのパートナーシップで近代化・機械化が図られ、東京23区の清掃事業の質は維持されてきた。組織人員等の実態把握、②組合員の意識調査、③課題の長い歴史を踏まえて随分移管から11年目となり、各区・一組における交渉も各支部の奮闘により強化されてきた。これまでの闘いから得た経験を最大限に活かして、追力ある大衆闘争を展開する。「自らの労働条件は、自らの闘いで切り拓く」「官・民・正規・非正規の枠を超えた社会的労働運動の中軸を担う」という信念で、全組合員の総力を結集することを確認して今秋闘争の方針とする。

最後に